

# 令和5年度第2回大口町下水道事業経営審議会 議事要旨

日時 令和5年11月29日（月）13:30～14:35

場所 大口町役場3階第5委員会室

出席者 別添名簿のとおり

## 1 会長あいさつ

## 2 議事要旨

### (1) 大口町下水道事業経営戦略の見直しについて

(事務局) 資料説明

(委員)

不明水は流れこんでくるのですか、そうしたら流出もしているのですか。

(事務局)

地下水は圧力がかかって中に入ってきます、流出はしみだす程度になります。

(委員)

投資・財政計画で給与の金額が10年間同額ですが、どうしてですか。

(事務局)

人事異動等により給与費は変動がありますので、収支計画には増減を見込んでおりません。

(委員)

減価償却費ですが、「ほとんどの資産が耐用年数を迎えていないため、年々増加して…」とありますが、新しい設備をいれないなら増加はしないのではないですか。

(事務局)

投資・財政計画の資本的支出のところで建設改良費が固定資産として毎年計上されていきますので、これが資産となりまして毎年減価償却費が増加となります。

(委員)

これは修繕ではなくて資本的支出で処理されているのですか。

(事務局)

不明水を減少させるには修繕では対応できません。管の耐久性を持たせるよう管更生工法をもちいて、管の中に新しい管を作る工事をおこなっていきます。

(委員)

経費回収率とは何を意味する数値ですか。

(事務局)

汚水処理にかかる経費を使用料でどれだけ回収できているかを示しています。理想としては100%です。

(委員)

常に100%を超えていないということは常に持ち出しがあるとのことですか。

(事務局)

そのとおり。

(委員)

収支計画のうち財源についての説明で、「基準外繰入金に依存している部分があるため、さらなる経費削減、事業の効率化を図った上で、…」とありますが、コスト削減をこの使用料収入と使用料単価のグラフに見込んでいますか。

(事務局)

不明水削減による維持管理費の削減を見込んでいますが、これ以外に明確なコスト削減金額は見込んではいません。当面の目標として、不明水を減らすことによる汚水処理費の減額によってコスト削減していきたい。

(委員)

将来人口推計のグラフは、ゆるやかに上がっていますが、これは一番いい状態での試算ですか。悪い状態での試算もありますか。

(事務局)

本計画用に推計値を出すことは難しいため、町として推計値を出している「第2期大口町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の数値を採用しています。

(委員)

基準外繰入を無くすために、令和10年に使用料を改定するための計画が経営戦略になっているのではないですか。左岸処理区の不明水率目標値は設定値が高いのではないですか。もっと管更生工事をして、不明水が減少すれば、使用料の改定も必要なくなるのではないですか。現状の使用料でなるべく継続していただきたい。

(事務局)

管更生の工事を国の補助金を使いながら進めていき不明水対策をしていきたいです。また、今回の計画は令和15年度に基準外繰入金を0にする目標で試算し

た結果です。企業会計が始まってから初年度であり、結果も見えていないので今後の結果を見ながら進めていきたいと考えています。

### 3 その他

(事務局)

大口町下水道事業経営戦略は、本日の意見を反映させる形に修正し、来年2月頃公表予定。

以 上